



r を 0 以上の整数とし、数列 $\{a_n\}$ を次のように定める。

$$a_1 = r, a_2 = r+1, a_{n+2} = a_{n+1}(a_n + 1) \quad (n=1, 2, 3, \dots)$$

また、素数 p を 1 つとり、 a_n を p で割った余りを b_n とする。

ただし、0 を p で割った余りは 0 とする。

(1) 自然数 n に対し、 b_{n+2} は $b_{n+1}(b_n + 1)$ を p で割った余りと一致することを示せ。

(2) $r=2, p=17$ の場合に、10 以下のすべての自然数 n に対して、 b_n を求めよ。

(3) ある 2 つの相異なる自然数 n, m に対して、

$$b_{n+1} = b_{m+1} > 0, b_{n+2} = b_{m+2}$$

が成り立ったとする。このとき、 $b_n = b_m$ が成り立つことを示せ。

(4) a_2, a_3, a_4, \dots に p で割り切れる数が現れないとする。このとき、 a_1 も p で割り切れないことを示せ。



(1) a_n を p で割ったときの商を c_n とおくと

$$\begin{cases} a_{n+2} = pc_{n+2} + b_{n+2} \\ a_{n+1} = pc_{n+1} + b_{n+1} \\ a_n = pc_n + b_n \end{cases} \quad \text{となる。}$$

したがって $a_{n+2} = a_{n+1}(a_n + 1)$

$$= (pc_{n+1} + b_{n+1})(pc_n + b_n + 1)$$

$$= p^2c_{n+1}c_n + pb_n c_{n+1} + pb_{n+1}c_n + b_{n+1}(b_n + 1)$$

$$= p(pc_{n+1}c_n + b_n c_{n+1} + b_{n+1}c_n) + b_{n+1}(b_n + 1) \quad \dots \textcircled{1}$$

a_{n+2} を p で割った余りが b_{n+2} であり、

①よりそれは $b_{n+1}(b_n + 1)$ を p で割った余りと一致する。

よって題意は示された。

(2) $r=2$ より $a_1=2$, $a_2=3$ である。

$p=17$ であるから $b_1=2, b_2=3$ であり,

$$b_2(b_1+1)=3(2+1)=9 \text{ より } b_3=9$$

$$b_3(b_2+1)=9(3+1)=36 \text{ より } b_4=2$$

$$b_4(b_3+1)=2(9+1)=20 \text{ より } b_5=3$$

$$\text{以下同様であり, } b_n = \begin{cases} 2 & (n=1, 4, 7, 10) \\ 3 & (n=2, 5, 8) \\ 9 & (n=3, 6, 9) \end{cases}$$

(3) (1)より b_{n+2} は $b_{n+1}(b_n+1)$ を p で割った余りと一致するので,

$$b_{n+1}(b_n+1) = pd_n + b_{n+2} \cdots \textcircled{2}, \quad b_{m+1}(b_m+1) = pd_m + b_{m+2} \cdots \textcircled{3} \quad (d_n, d_m \text{ は整数})$$

と表すことができる。

$$b_{n+1} = b_{m+1}, b_{n+2} = b_{m+2} \text{ であるから, } \textcircled{2} - \textcircled{3} \text{ より } b_{n+1}(b_n - b_m) = p(d_n - d_m)$$

ここで, 右辺は素数 p の倍数であり, $0 < b_{n+1} < p$, $-p < b_n - b_m < p$ であるから

$b_n - b_m = 0$ でなければならない。

したがって $b_n = b_m$ が成り立つ。

(4) $b_1 \neq 0$ であることを示せばよい。

a_2, a_3, a_4, \dots に p で割り切れる数が現れないことから $n \geq 2$ に対し, $0 < b_n < p$ である。

(b_{n+1}, b_{n+2}) の組を考えると, 組の総数は $(p-1)^2$ 以下である。

したがって, $2 \leq k < \ell$ かつ $(b_{k+1}, b_{k+2}) = (b_{\ell+1}, b_{\ell+2})$ を満たす自然数 k, ℓ が存在する。

このとき, (3)より $b_k = b_\ell$ が成立する。

したがって, 帰納的に $b_1 = b_{\ell-k+1}$ となるが,

$\ell - k > 0$ より $\ell - k + 1 \geq 2$ なので, $b_{\ell-k+1} > 0$ すなわち $b_{\ell-k+1} \neq 0$

よって, $b_1 > 0$ すなわち $b_1 \neq 0$ となるから, a_1 は p で割り切れない。